

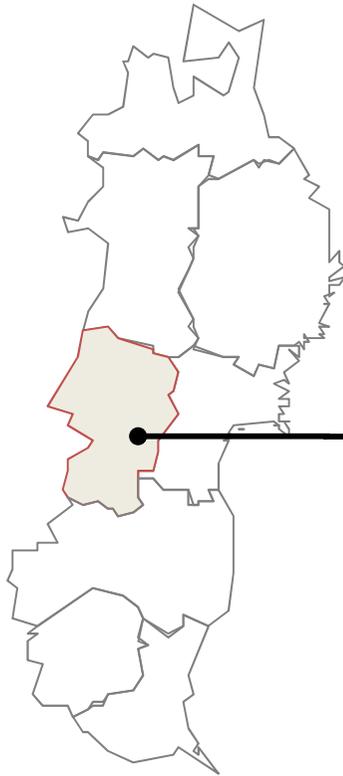


ワイン特区認定による交流人口の拡大
—かみのやまワインの郷プロジェクト—

2022.3.23 上山市農林夢づくり課



山形県上山市の概要



■山形県の南東部に位置し、開湯560年の歴史ある“かみのやま温泉”をはじめ、蔵王連峰の懷に抱かれ、城下町・温泉町・宿場町の三つの顔をあわせ持つ全国でも珍しいまち

■伝統あふれる歴史・文化的資源、果樹をはじめとする旬の食、四季折々に姿を変える自然環境など、地域資源が豊富

■「蔵王坊平アスリートヴィレッジ」が文部科学省「ナショナルトレーニングセンター 高地トレーニング強化拠点施設」に指定(東北唯一)

■アクセス

・市の南北に東北中央自動車道 IC

・JR山形新幹線で 東京駅～かみのやま温泉駅 約2時間30分



温泉城下町 ～かみのやま温泉開湯560年～





果物の宝庫



さくらんぼ
(佐藤錦・紅秀峰)



ぶどう
(ピオーネ・シャインマスカット)



かみのやまワイン



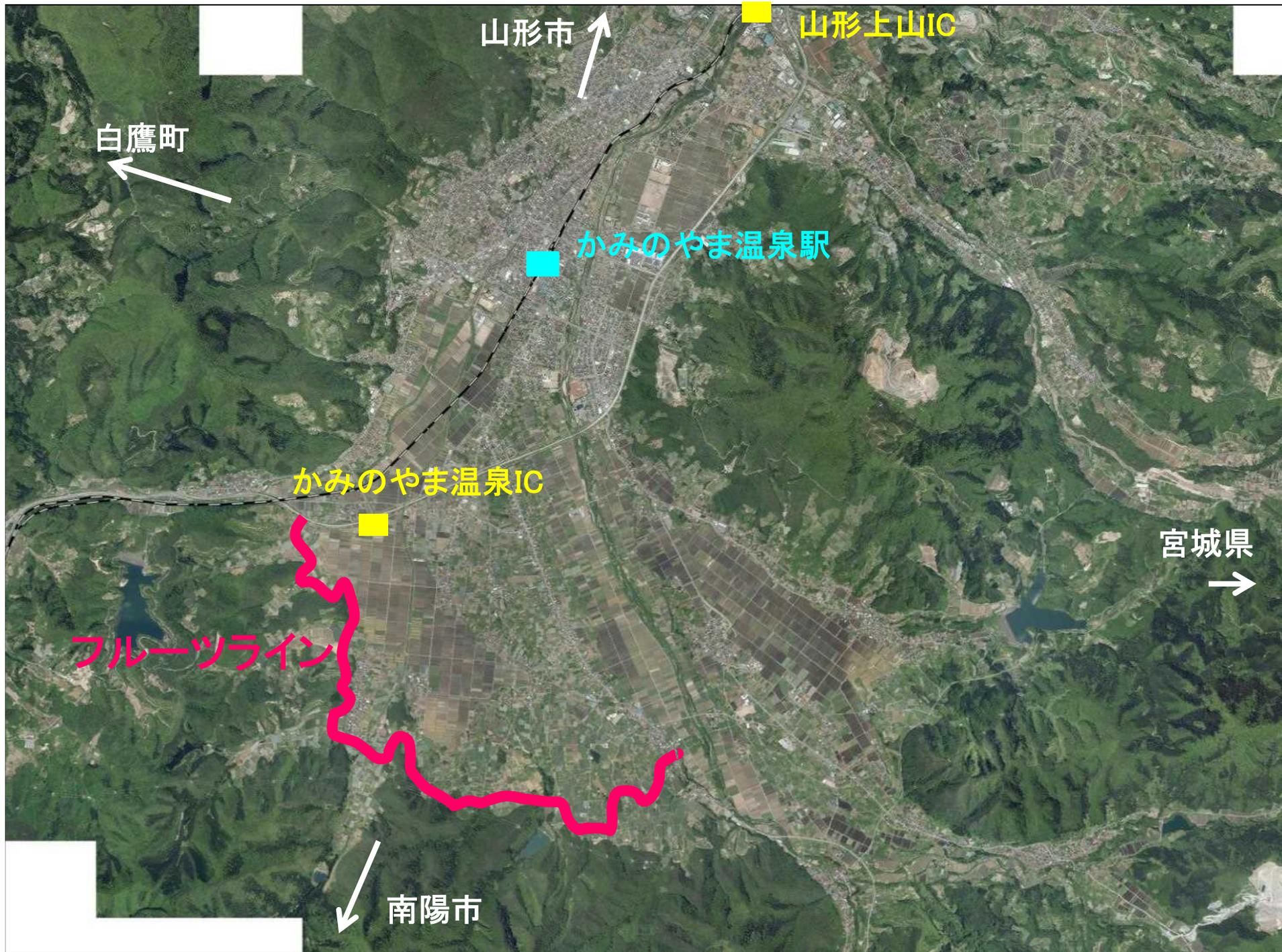
ラ・フランス
(平棚仕立)



干柿
(紅柿・平核無柿)



米
(はえぬき・つや姫・雪若丸)



山形市

山形上山IC

白鷹町

かみのやま温泉駅

かみのやま温泉IC

フルーツライン

南陽市

宮城県



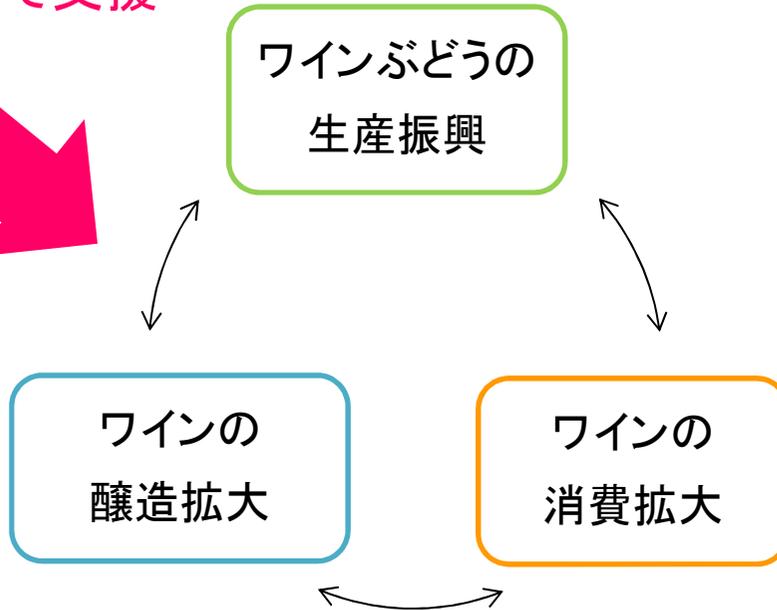
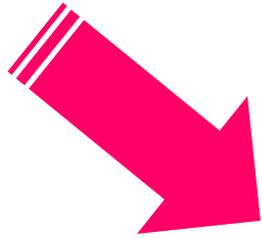
IC近くに観光スポット





かみのやまワインの郷プロジェクト

ワンストップで支援



プロジェクトとは...
 トップクラスのワイナリーがあり、
 高品質のぶどうを生産する農
 家がいる。それぞれの取組み
 を深化させつつ、それらを有機
 的に連携させ、地域経済活性
 の起爆剤とする取組みです。

かみのやまワインと関連事業を地場産業の柱に育成

- 醸造設備の整備
- ワイナリーの育成・誘致
- 需要と供給のビジネスマッチング
- 域内消費限定 プレミアム商品の開発
- 6次産業化の推進

ワイン用ぶどうの生産拡大と後継者の育成

- ワンストップ窓口の設置
- 生産拡大・維持
- 人材育成・新規グループの立ち上げ支援
- 耕作放棄地の再生利用・農地の集積推進
- 新品種導入・栽培技術の確立
- ぶどうのブランド化・長期契約

観光産業及び他地域と積極的に連携し、かみのやまワインの素晴らしさを県外にPR

- 域内消費のための人材育成と仕組みづくり
- ワインツーリズムの実施と受け入れ態勢整備
- ワイン活用商品の開発
- プロモーションの実施
- ぶどう・ワインの認知度アップ
- ワイン飲食店の開店



ワイン特区（醸造量の規制緩和）

かみのやまワイン特区

（平成28年6月17日認定）

酒税法で定められている
酒類製造免許に係る最低製造数量基準（6kl）が、
果実酒（ワイン等）は2kl
リキュールは1kl に引き下げられ、
酒類製造免許を受けることができます。

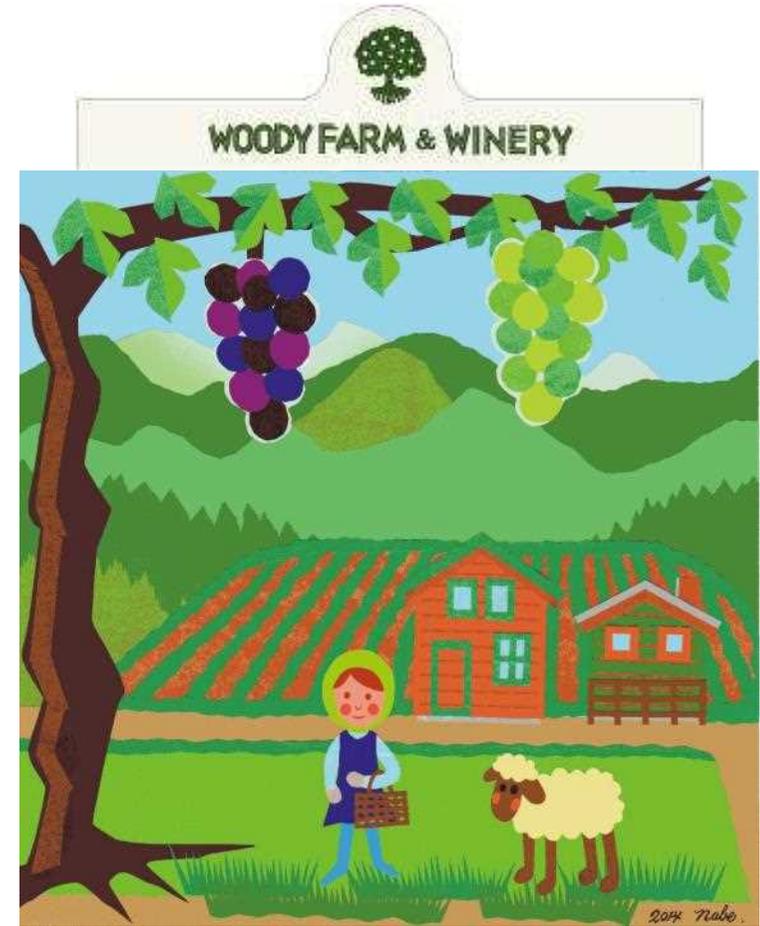
6kl 8,000本 → 2kl 2,666本

【特例措置の名称】 特産酒類の製造事業





かみのやまのワイナリーは3社





ワイナリー創業希望者

MVM合同会社(エムブイエム)

À PIED(ア・ピエ)

社会福祉法人 友愛会

DROP(ドロップ)

ヤマガッタ株式会社





東北最大級 ワインぶどう団地

松沢地区ワインぶどう団地

- 1 面積 137,236m²
- 2 参入者 4法人・1個人
- 3 事業期間 令和2～4年度
- 4 生産計画 R11に販売額1億





やまがたワインバルinかみのやま温泉

ワイナリー数 30超
ワイン数 170超
参加者 3,500人

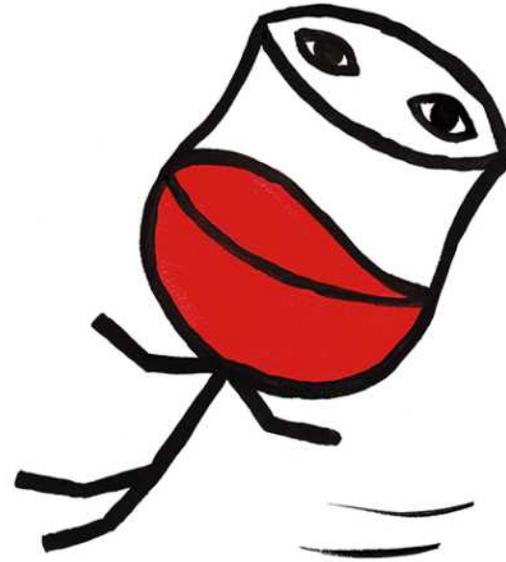




やまがたワインツーリズム

**WINE TOURISM
YAMAGATA 2019
KAMINOYAMA & NANYO
2019.6.9 SUN**

ワインツーリズムやまがた2019
2019年6月9日(日) 上山市・南陽市にて



ワインと、美食と、温泉と。
6月のやまがた、風とともに。

ワイナリー数 8
(上山6、南陽6)

